

# 次世代ドップラーレーダー技術の研究開発

突発的、局所的気象災害の予測や災害対策のため、その原因となる集中豪雨、竜巻突風等を10秒以内に100 m以下の分解能で立体的に観測可能な次世代ドップラーレーダーの研究開発を行う。

## 課題ア フェーズドアレイ・レーダーの開発

- ・ 水平30 km四方、高度14 kmまでを10秒以内に観測
- ・ 座標変換後の水平・鉛直格子間隔は100 m以下
- ・ ネットワーク運用のための混信低減技術
- ・ リモート運用、リアルタイムデータ処理・配信
- ・ 製造コスト、運用・保守コストの低減

研究開発期間：平成20年度～平成24年度(5年間)  
予算：総額162百万円程度(上限、平成20年度)

集中豪雨

竜巻・突風

10秒以内の3次元スキャン

格子間隔 100 m

洪水・土砂崩れ

## 課題イ フェーズドアレイ・レーダーの性能評価と実証実験

- ・ 地表面クラッタの低減手法の検討と評価
- ・ オーバーサンプリング評価等のためのシミュレーション実験
- ・ ユーザーニーズを考慮した実効的なレーダー運用方法
- ・ 実証実験、実用化を目指した運用試験

